

子育て支援に関するアンケート調査 ～調査の趣旨とご協力のお願～

【ご協力のお願】

日頃より市政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、本市では子ども・子育て支援を推進するため、5年間を一期とする「子ども・子育て支援事業計画」（平成27年度～31年度）を策定し、計画的に実施しております。

来年度、計画の最終年度を迎えることから、計画の見直しに向けて、改めて、皆様の教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」などを把握いたしたく、アンケート調査を実施することにいたしました。

住民基本台帳（平成30年●月●日現在）の中から就学前児童の保護者を対象に2,000人の方を無作為に選ばせていただいたところ、あなた様にご意見をお伺いすることになりました。市民の皆様のご意見を本市の子ども・子育て支援施策の検討に利用させていただくものであり、ぜひ「ありのまま」のご意見をお聞かせください。

ご回答いただいた調査内容は、回答者個人が特定されたり個々の回答内容が他にもれたり、他の目的に利用されたりすることは一切ございません。

つきましては、ご多忙中のことと存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成30年●月

稲沢市長 加藤錠司郎

- ご回答は、できるかぎりあて名のお子さんの保護者をお願いしますが、ご家族の方や一緒にお住まいの方にもご協力いただきますようお願いいたします。
- 調査票の頁数が多くありますが、回答していただく方を限定している設問もありますので、最終頁までご回答くださいますようお願いいたします。
- 番号を選ぶところでは、当てはまる項目の番号を、指定の数だけ○で囲んでください。
- 時刻を記入するところでは、当てはまる時間を、24時間表記で記載してください。
(例) 9時～18時、17時まで
- ご記入いただいた調査票は、同封いたしました返信用封筒に入れて、
●月●日(●)までにご返送ください。(切手は不要です。)
- 調査内容についてご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

【お問い合わせ】

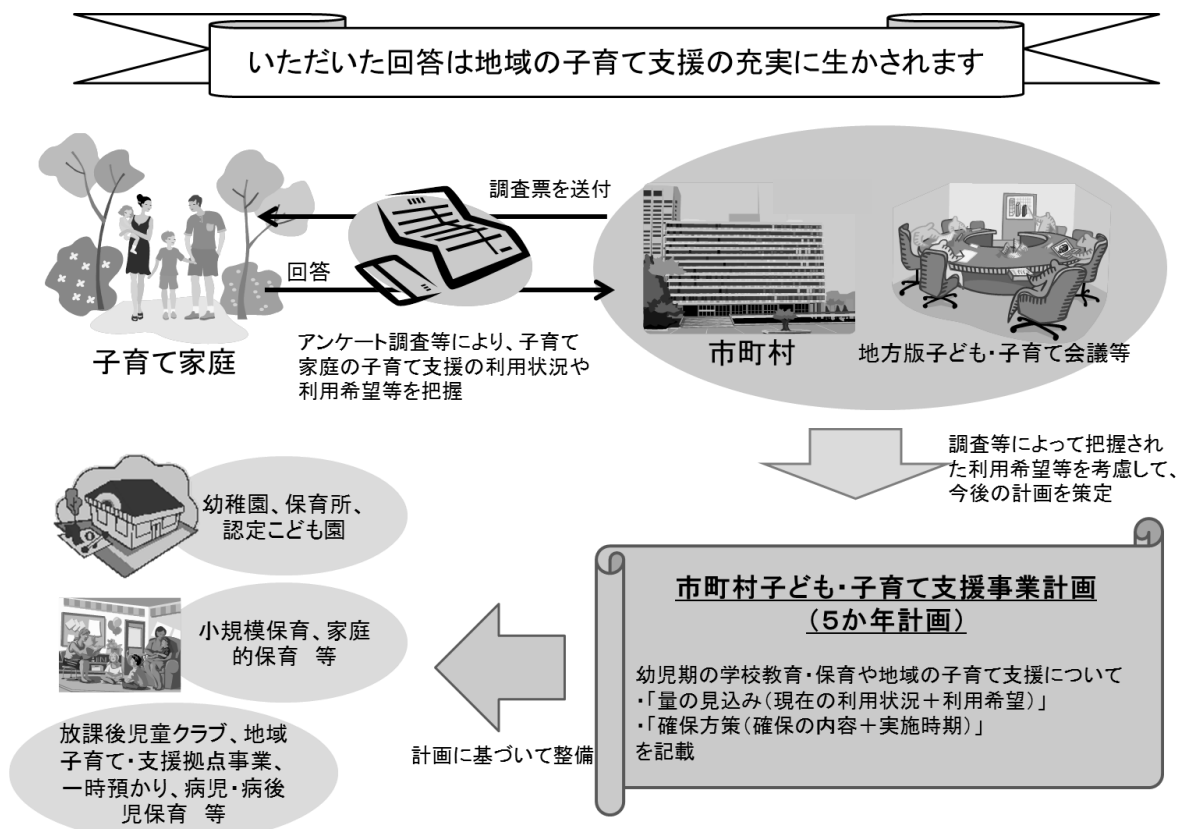
稲沢市役所 子ども健康部 子育て支援課 児童家庭グループ

TEL：(0587) 32-1296

FAX：(0587) 32-8911

子ども・子育て支援新制度の目的

- 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした愛情関係を基礎として、心身の健全な発達を通じて、学童期に至るまで一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。
- 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるような支援を目指しています。



アンケート調査票に使われている用語の定義

- 幼稚園：学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設
- 保育園：児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設
- 認定こども園：幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設
- 子育て：教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援
- 教育：問15までにおいては家庭での教育を含めた広い意味、問15以降においては幼稚園、認定こども園での教育の意味で用いています。
- 保育：幼児の心身の健やかな発育を目的として、保育園などで行われる養育の意味で用いています。
- 幼児教育無償化：3歳から5歳までの全ての子どもたちの幼稚園、保育所、認定こども園の授業料・保育料を無料とします。
(なお、子ども・子育て支援新制度の対象とならない幼稚園については、公平性の観点から、同制度における利用者負担額を上限として無償化とします。)
また0歳～2歳児についても、当面、住民税非課税世帯を対象として無償化を進めます。

お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの地区として当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|----------------|----------------|----------------|
| 1. 稲沢市民センター地区 | 2. 小正市民センター地区 | 3. 下津市民センター地区 |
| 4. 明治市民センター地区 | 5. 千代田市民センター地区 | 6. 大里西市民センター地区 |
| 7. 大里東市民センター地区 | 8. 祖父江支所地区 | 9. 平和支所地区 |

封筒の宛名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問2 宛名のお子さんの生年月月をご記入ください。(() 内に数字でご記入ください。)

平成()年()月生まれ

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を()内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月月をご記入ください。

きょうだい数()人 末子の生年月月 平成()年()月生まれ

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 母親 2. 父親 3. その他()

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 配偶者がいる 2. 配偶者はいない

問6 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親 4. 主に祖父母 5. その他()

子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問7 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に日常的に関わっている方はどなた(施設)ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | | |
|----------|---------|-----------|-----------|
| 1. 父母ともに | 2. 主に母親 | 3. 主に父親 | 4. 祖父母 |
| 5. 幼稚園 | 6. 保育園 | 7. 認定こども園 | 8. その他() |

問8 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に、もっとも影響すると思われる環境1つに○をつけてください。

- | | | |
|--------|-----------|-----------|
| 1. 家庭 | 2. 地域 | 3. 幼稚園 |
| 4. 保育園 | 5. 認定こども園 | 6. その他() |

問9 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|------------------------------------|-----------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる | } 【問9-1へ】 |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる | |
| 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる | } 【問9-2へ】 |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる | |
| 5. いずれもない ---▶ 【問10へ】 | |

問9-1 問9で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。

祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である
3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他 () ---▶ 【問10へ】

問9-2 問9で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。

友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である
3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他 ()

問10 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. いる／ある ---▶ 【問10-1へ】 2. いない／ない ---▶ 【問11へ】

問10-1 問10で「1.いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。

お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | |
|----------------------|---------------|-------------------|
| 1. 配偶者・パートナー | 2. 祖父母等の親族 | |
| 3. 友人や知人 | 4. 近所の人 | |
| 5. 子育て支援施設（児童館等）・NPO | 6. 保健所・保健センター | |
| 7. 保育士 | 8. 幼稚園教諭 | |
| 9. 民生委員・児童委員 | 10. かかりつけの医師 | 11. 自治体の子育て関連担当窓口 |
| 12. その他 () | | |

問11 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問 12 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

(1) 母親【父子家庭の場合は記入は不要です】当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. フルタイム（週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、 産休・育休・介護休業中ではない 2. フルタイム（週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、 産休・育休・介護休業中である 3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、 産休・育休・介護休業中ではない 4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、 産休・育休・介護休業中である 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない 6. これまで就労したことがない	} 【(1) - 1 へ】 } 【(2) へ】
--	--

(1) - 1 (1) で「1. ~ 4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。

週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（（ ）内に数字でご記入ください。）

週当たり（ ）日	1日当たり（ ）時間
----------	------------

(1) - 2 (1) で「1. ~ 4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。

家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず（例）08時~18時のように、24時間制でお答えください。（（ ）内に数字でご記入ください。）

家を出る時刻（ ）時	帰宅時刻（ ）時
------------	----------

(2) 父親【母子家庭の場合は記入は不要です】当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. フルタイム（週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、 育休・介護休業中ではない 2. フルタイム（週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、 育休・介護休業中である 3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、 育休・介護休業中ではない 4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、 育休・介護休業中である 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない 6. これまで就労したことがない	} 【(2) - 1 へ】 } 【問 14 へ】
--	---

(2) - 1 (2) で「1. ~ 4.」（就労している）に○をつけた方にうかがいます。

週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が、一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（（ ）内に数字でご記入ください。）

週当たり（ ）日	1日当たり（ ）時間
----------	------------

(2) - 2 (2)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。

家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず(例)08時~18時のように、24時間制でお答えください。()内に数字でご記入ください。)

家を出る時刻()時 帰宅時刻()時

問13 問12の(1)または(2)で「3.」、「4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問15へお進みください。

フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

1. フルタイム(週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム(週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

1. フルタイム(週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム(週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい

問14 問12の(1)または(2)で「5.」、「6.」(就労していない)に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問15へお進みください。

就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する()内には数字をご記入ください。

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
 2. 1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい
 3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい
→希望する就労形態
- | |
|----------------------------|
| ア. フルタイム(週5日程度・1日8時間程度の就労) |
| イ. パートタイム, アルバイト等(「ア」以外) |
| →週当たり()日 1日当たり()時間 |

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
 2. 1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい
 3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい
→希望する就労形態
- | |
|----------------------------|
| ア. フルタイム(週5日程度・1日8時間程度の就労) |
| イ. パートタイム, アルバイト等(「ア」以外) |
| →週当たり()日 1日当たり()時間 |

問 15-5 問 15 で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

利用していない理由は何ですか。理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|---|----------------------------|
| 1. (子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない | |
| 2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている | 3. 近所の人や父母の友人・知人がみている |
| 4. 利用したいが、保育・教育の事業に空きがない | 5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない |
| 6. 使用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない | |
| 7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない | |
| 8. 子どもがまだ小さいため()歳くらいになったら利用しようと考えている | |
| 9. その他() | |

問 16 すべての方にうかがいます。

現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。認可保育園の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。

- | |
|---|
| 1. 幼稚園(通常就園時間の利用) |
| 2. 幼稚園の預かり保育(通常就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ) |
| 3. 認可保育園(都道府県等の認可を受けたもの) |
| 4. 認定こども園(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設) |
| 5. 小規模な保育施設(国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員が概ね6~19人のもの) |
| 6. 家庭的保育(保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業) |
| 7. 事業所内保育施設(企業が主に従業員用に運営する施設) |
| 8. 自治体の認証・認定保育施設(認可保育所ではないが自治体が認証・認定した施設) |
| 9. その他の認可外の保育施設 |
| 10. 居宅訪問型保育(ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業) |
| 11. ファミリー・サポート・センター(市民が登録会員となって子どもを預ける・預かる事業) |
| 12. その他() |

問 16-1 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|---------|----------|
| 1. 稲沢市内 | 2. 他の市町村 |
|---------|----------|

問 16-2 問 16 で「1~2」(幼稚園)と「3~12」(保育事業)の両方に○をした方にうかがいます。

特に幼稚園(幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合も含む)の利用を強く希望しますか。(1つに○)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。

問 17 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業(親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「つどいの広場」「子育て支援センター」等と呼ばれています)を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数(頻度)を()内に数字でご記入ください。

- | |
|---|
| 1. 地域子育て支援拠点事業(親子が集まって過ごしたり、相談をする場)
週当たり()回 もしくは 1ヵ月当たり()回程度 |
| 2. その他当該自治体で実施している類似の事業(具体名:)
週当たり()回 もしくは 1ヵ月当たり()回程度 |
| 3. 利用していない |

問 18 問 17 のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。当てはまる番号 1 つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を（ ）内に数字でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

1. 利用していないが、今後利用したい
週当たり（ ）回 もしくは 1 カ月当たり（ ）回程度
2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい
週当たり 更に（ ）回 もしくは 1 カ月当たり 更に（ ）回程度
3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

問 19 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑬の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、1 つに○をつけてください。

	A		B		C	
	知っている		これまでに利用 したことがある		今後利用したい	
①保健センターの情報・相談	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
②保健に関する教室 (母親教室・初妊婦教室など)	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
③家庭教育に関する学級・講座 (子育てセミナーなど)	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
④保育園の園庭開放	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
⑤児童遊園	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
⑥子育て支援総合相談センター (家庭児童相談室)	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
⑦子育て支援総合相談センター (こども発達支援室)	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
⑧育児講座	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
⑨放課後児童健全育成事業 (放課後児童クラブ)	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
⑩児童館・児童センター	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
⑪ファミリー・サポート・センター事業 (市民が登録会員となって子どもを預ける・預かる事業)	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
⑫子育て支援センター	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ
⑬本市の子育て関連ホームページ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ	1. はい	2. いいえ

宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。

問 20 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか。
 (一時的な利用は除きます) 希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※保育・教育事業とは、幼稚園、保育園、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

(1) 土曜日

- | | | |
|-----------------|------------|-----------------|
| 1. 利用する必要はない | } 利用したい時間帯 | () 時から () 時まで |
| 2. ほぼ毎週利用したい | | |
| 3. 月に1～2回は利用したい | | |

(2) 日曜・祝日

- | | | |
|-----------------|------------|-----------------|
| 1. 利用する必要はない | } 利用したい時間帯 | () 時から () 時まで |
| 2. ほぼ毎週利用したい | | |
| 3. 月に1～2回は利用したい | | |

問 20-1 問 20 の (1) もしくは (2) で、「3. 月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。
 毎週ではなく、月に1～2回は利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|--------------------|----------------------------|
| 1. 月に数回仕事が入るため | 2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため |
| 3. 親族の介護や手伝いが必要なため | 4. 息抜きのため |
| 5. その他 () | |

問 21 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。

宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

- | | | |
|---------------------|------------|-----------------|
| 1. 利用する必要はない | } 利用したい時間帯 | () 時から () 時まで |
| 2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい | | |
| 3. 休みの期間中、週に数日利用したい | | |

問 21-1 問 21 で、「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

毎日ではなく、週に数日利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 週に数回仕事が入るため | 2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため |
| 3. 親等親族の介護や手伝いが必要なため | 4. 息抜きのため |
| 5. その他 () | |

宛名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。(平日の教育・保育を利用する方のみ)

問 22 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方(問 15 で「1. 利用している」に○をつけた方)にうかがいます。利用していらっしゃらない方は、問 23 にお進みください。

この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1. あった ---▶【問 22-1へ】 | 2. なかった ---▶【問 23へ】 |
|----------------------|---------------------|

問 22-1 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も（ ）内に数字でご記入ください。（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。）

1年間の対処方法	日数
1. 父親が休んだ	()日
2. 母親が休んだ	()日
3. (同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	()日
4. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	()日
5. 病児・病後児の保育を利用した(稲沢市外の施設に限る)	()日
6. ベビーシッターを利用した	()日
7. ファミリー・サポート・センターを利用した	()日
8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	()日
9. その他()	()日

※「7.ファミリー・サポート・センター」には、「病児・緊急対応強化事業」による利用も含まれます。

【問 22-5 へ】

問 22-2 問 22-1 で「1.」、「2.」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても（ ）内に数字でご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒ ()日 ---▶【問 22-3 へ】
 2. 利用したいとは思わない ----▶【問 22-4 へ】

問 22-3 問 22-2 で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われませんか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 幼稚園・保育園等に併設した施設で子どもを保育する事業
 2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
 3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業(例：ファミリー・サポート・センター等)
 4. その他() ----▶【問 23 へ】

問 22-4 問 22-2 で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 病児・病後児を他人に看ってもらうのは不安 2. 地域の事業の質に不安がある
 3. 地域の事業の利便性(立地や利用可能時間日数など)がよくない
 4. 利用料がかかる・高い 5. 利用料がわからない
 6. 親が仕事を休んで対応できる 7. その他()

問 22-5 問 22-1 で「3.」から「9.」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、「3.」から「9.」の日数のうち仕事を休んで見たかった日数についても数字でご記入ください。

1. できれば仕事を休んで看たい ⇒ ()日 ---▶【問 23 へ】
 2. 休んで見ることは非常に難しい ----▶【問 22-6 へ】

問 22-6 問 22-5 で「2. 休んで見ることは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの看護を理由に休みがとれない 2. 自営業なので休めない
 3. 休暇日数が足りないので休めない 4. その他()

宛名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について
うかがいます。

問 23 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も（ ）内に数字でご記入ください。

利用している事業	日数（年間）
1. 一時預かり （私用など理由を問わずに保育園などで一時的に子どもを保育する事業）	（ ）日
2. 幼稚園の預かり保育 （通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ）	（ ）日
3. ファミリー・サポート・センター （市民が登録会員となって子どもを預ける・預かる事業）	（ ）日
4. 夜間養護等事業：トワイライトステイ （児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業）	（ ）日
5. ベビーシッター	（ ）日
6. その他（ ）	（ ）日
7. 利用していない	

問 23-1 問 23 で「7. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。
現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|-----------------------------------|------------------|
| 1. 特に利用する必要がない | 2. 利用したい事業が地域にない |
| 3. 地域の事業の質に不安がある | |
| 4. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない | |
| 5. 利用料がかかる・高い | 6. 利用料がわからない |
| 7. 自分が事業の対象者になるのかわからない | |
| 8. 事業の利用方法（手続き等）がわからない | 9. その他（ ） |

問 24 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください。（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を（ ）内に数字でご記入ください。）なお事業の利用には、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	計	日		
【問 24-1 へ】	1 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等、リフレッシュ目的）	（ ）	日	
	2 冠婚葬祭、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等	（ ）	日	
	3 不定期の就労	（ ）	日	
	4 その他（ ）	（ ）	日	
2. 利用する必要はない	----	【問 25 へ】	（ ）	日

問 24-1 問 24 で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。
問 24 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育園等） |
| 2. 小規模施設で子どもを保育する事業（例：地域子育て支援拠点等） |
| 3. 地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等） |
| 4. その他（ ） |

問 25 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。（預け先が見つからなかった場合も含みます。）あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も（ ）内に数字でご記入ください。

	1年間の対処方法	日数
1. あった	1 （同居者を含む）親族・知人にみてもらった -----▶【問 25-1へ】	（ ）泊
	2 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した （児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）	（ ）泊
	3 2以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	（ ）泊
	4 仕方なく子どもを同行させた	（ ）泊
	5 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	（ ）泊
	6 その他（ ）	（ ）泊
2. なかった		

問 25-1 問 25 で「1. あった 1（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」に○をつけた方にうかがいます。

その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 非常に困難	2. どちらかという困難	3. 特に困難ではない
----------	--------------	-------------

宛名のお子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます。

問 26 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も（ ）内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください。

「放課後児童クラブ」…地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、支援員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用には、一定の利用料がかかります。

1. 自宅	週（ ）日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週（ ）日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週（ ）日くらい
4. 児童館 ※1	週（ ）日くらい
5. 放課後子ども教室 ※2	週（ ）日くらい
6. 放課後児童クラブ〔学童保育〕	週（ ）日くらい → 下校時から（ ）時まで
7. ファミリー・サポート・センター	週（ ）日くらい
8. その他（公民館、公園など）	週（ ）日くらい

※1 児童館で行う放課後児童クラブを利用する場合は「6.」に回答

※2 「放課後子ども教室」…地域の方々との協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

問 27 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週あたり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には利用を希望する時間も（ ）内に数字でご記入ください。時間は、必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください。

（だいたい先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。）

1. 自宅	週（ ）日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週（ ）日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週（ ）日くらい
4. 児童館 ※	週（ ）日くらい
5. 放課後子ども教室	週（ ）日くらい
6. 放課後児童クラブ〔学童保育〕	週（ ）日くらい → 下校時から（ ）時まで
7. ファミリー・サポート・センター	週（ ）日くらい
8. その他（公民館、公園など）	週（ ）日くらい

※ 児童館で行う放課後児童クラブの利用を希望する場合は「6.」に回答

問 28 問 26 または問 27 で「6. 放課後児童クラブ〔学童保育〕」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。（1）（2）それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、（ ）内に（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください。

（1）土曜日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	} 利用したい時間帯
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい	
3. 利用する必要はない	

（2）日曜・祝日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	} 利用したい時間帯
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい	
3. 利用する必要はない	

問 29 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、（ ）内に（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください。

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい	} 利用したい時間帯
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい	
3. 利用する必要はない	



すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度についてうかがいます。

問 30 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけ、該当する()内に数字をご記入ください。また、取得していない方はその理由をご記入ください。

母親 (いずれかに○)	父親 (いずれかに○)
1. 以前から働いていなかった	1. 以前から働いていなかった
2. 取得した(取得中である) ⇒取得期間()日	2. 取得した(取得中である) ⇒取得期間()日
3. 取得していない ⇒ 取得していない理由(下から番号を選んで ご記入ください)(いくつでも)	3. 取得していない ⇒ 取得していない理由(下から番号を選んで ご記入ください)(いくつでも)

1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. (産休後に)仕事に早く復帰したかった
4. 仕事に戻るのが難しそうだった
5. 昇給・昇格などが遅れそうだった
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
7. 保育園などに預けることができた
8. 配偶者が育児休業制度を利用した
9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
10. 子育てや家事に専念するため退職した
11. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
13. 育児休業を取得できることを知らなかった
14. 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した
15. その他()

問 30-1 子どもが原則1歳(保育園における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は1歳6ヵ月)になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等(法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置)期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた
2. 育児休業給付のみ知っていた
3. 保険料免除のみ知っていた
4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった

問 30-2 問 30 で「2. 取得した(取得中である)」に○をつけた方にうかがいます。
育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

1. 育児休業取得後、職場に復帰した
2. 現在も育児休業中である
3. 育児休業中に離職した

(2) 父親

- | | |
|--------------------|----------------|
| 1. 育児休業取得後、職場に復帰した | 2. 現在も育児休業中である |
| 3. 育児休業中に離職した | |

問 30-3 問 30-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。

育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育園入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか1つに○をつけてください。 ※年度初めでの認可保育園入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育園に入所した場合なども「1.」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育園に入所できなかったという場合も「1.」を選択してください。

(1) 母親

- | |
|-------------------------|
| 1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった |
| 2. それ以外だった |

(2) 父親

- | |
|-------------------------|
| 1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった |
| 2. それ以外だった |

問 30-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヵ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヵ月のときまで取りたかったですか。() 内に数字でご記入ください。

(1) 母親

実際の取得期間 () 歳 () ヵ月	希望 () 歳 () ヵ月
----------------------	-----------------

(2) 父親

実際の取得期間 () 歳 () ヵ月	希望 () 歳 () ヵ月
----------------------	-----------------

問 30-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヵ月のときまで取りたかったですか。() 内で数字でご記入ください。

(1) 母親

() 歳 () ヵ月

(2) 父親

() 歳 () ヵ月

問 30-6 問 30-4 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。
希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1) 「希望」より早く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| 1. 希望する保育園に入るため | 2. 配偶者や家族の希望があったため |
| 3. 経済的な理由で早く復帰する必要がある | 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため |
| 5. その他 () | |

②父親

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| 1. 希望する保育園に入るため | 2. 配偶者や家族の希望があったため |
| 3. 経済的な理由で早く復帰する必要がある | 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため |
| 5. その他 () | |

(2) 「希望」より遅く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

- | | |
|-----------------------|---------------------------|
| 1. 希望する保育園に入れなかったため | 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため |
| 3. 配偶者や家族の希望があったため | 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため |
| 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため | |
| 6. その他 () | |

②父親

- | | |
|-----------------------|---------------------------|
| 1. 希望する保育園に入れなかったため | 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため |
| 3. 配偶者や家族の希望があったため | 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため |
| 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため | |
| 6. その他 () | |

問 30-7 問 30-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいます。
育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

(1) 母親

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1. 短時間勤務制度を利用した | 2. 短時間勤務制度を利用しなかった |
|-----------------|--------------------|

(2) 父親

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1. 短時間勤務制度を利用した | 2. 短時間勤務制度を利用しなかった |
|-----------------|--------------------|

問 30-8 問 30-7 で「2. 短時間勤務制度を利用しなかった」に○をつけた方にうかがいます。
短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。当てはまる番号を すべてに○ をつけてください。

(1) 母親

- | |
|---|
| 1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった |
| 2. 仕事が忙しかった |
| 3. 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる |
| 4. 短時間勤務にすると保育園の入所申請の優先順位が下がる |
| 5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した |
| 6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなどなど、制度を利用する必要がなかった |
| 7. 職場に短時間勤務制度がなかった (就業規則に定めがなかった) |
| 8. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった |
| 9. その他 () |

(2) 父親

- | |
|---|
| 1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった |
| 2. 仕事が忙しかった |
| 3. 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる |
| 4. 短時間勤務にすると保育園の入所申請の優先順位が下がる |
| 5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した |
| 6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなどなど、制度を利用する必要がなかった |
| 7. 職場に短時間勤務制度がなかった (就業規則に定めがなかった) |
| 8. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった |
| 9. その他 () |

問 30-9 問 30-2で「2. 現在も育児休業中である」に○をつけた方にうかがいます。

宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1. 1歳になるまで育児休業を取得したい | 2. 1歳になる前に復帰したい |
|----------------------|-----------------|

(2) 父親

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 1. 1歳になるまで育児休業を取得したい | 2. 1歳になる前に復帰したい |
|----------------------|-----------------|

すべての方に、子育てに関する悩みや不安感、地域との関わりについてうかがいます。

問 31 子育てに不安や負担を感じますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|-------------|-------------|------------|
| 1. 非常に感じる | 2. なんとなく感じる | 3. あまり感じない |
| 4. まったく感じない | 5. なんともいえない | |

問 32 子育てに関して日常悩んでいること、また気になることはどのようなことですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------------------------|------------------------|
| 1. 病気に関すること | 2. 発育・発達に関すること |
| 3. 食事や栄養に関すること | 4. 育児の方法に関すること |
| 5. 子どもの教育に関すること | 6. 友達づきあい(いじめなど)に関すること |
| 7. 登園拒否、不登校などの問題について | 8. 子どもとの時間が十分に取れない |
| 9. 仕事や自分のやりたいことができない | 10. 子育てに配偶者などの協力が少ない |
| 11. 配偶者と子育てに関して意見が合わない | 12. 子育てについてまわりの目が気になる |
| 13. 配偶者などのほかに子育てを手伝ってくれる人がいない | |
| 14. 話し相手や相談相手がいない | |
| 15. 子どもをしかりすぎている気がする | |
| 16. 子どもに対し、手をあげたり世話をしないことがある | |
| 17. 子育て支援サービスの内容・申し込みがわからない | |
| 18. 子育てによる身体の疲れ | |
| 19. その他() | |
| 20. 特にない | |

問 33 身近な地域で、子育てに関する悩みや不安をどなた(どこ)に相談していますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|-----------------------------|----------------------------|
| 1. 配偶者・パートナー | 2. 親族(親、兄弟・姉妹など) |
| 3. 友人 | 4. 職場の人 |
| 5. 隣近所の人 | 6. 保育園、幼稚園、学校の保護者の仲間 |
| 7. 保育園の保育士 | 8. 幼稚園の先生、学校の先生 |
| 9. 医師・保健師・看護師・栄養士など | 10. 児童館等の子育て相談 |
| 11. 地域で行われている子育てサロンなど | 12. 子育てサークルの仲間 |
| 13. 民生・児童委員、主任児童委員 | 14. 子育て支援総合相談センター(家庭児童相談室) |
| 15. 子育て支援総合相談センター(こども発達支援室) | 16. 子育て支援センター |
| 17. 保健センター | 18. 児童相談所 |
| 19. 民間の電話相談 | 20. その他() |
| 21. 相談相手がいない | 22. 相談するほどの悩みや不安はない |

問 34 あなたは、子育ての不安や負担を解消するために、どのようなことが必要と思いますか。当てはまる番号3つまでに○をつけてください。

- | | |
|-----------------------|--------------------------|
| 1. 地域における子育て支援の充実 | 2. 子育て支援のネットワークづくり |
| 3. 妊娠・出産に対する支援 | 4. 子どもの教育環境 |
| 5. 仕事と家庭生活の両立 | 6. 要保護児童に対する支援 |
| 7. 保育サービスの充実 | 8. 地域における子どもの活動拠点の充実 |
| 9. 親や子どもの健康に対する安心 | 10. 子育てしやすい住居・まちの環境面での充実 |
| 11. 子どもを対象にした犯罪・事故の軽減 | |
| 12. その他（ | ） |
| 13. 特にない | |

あなたのご家庭での生活についてうかがいます。

問 35 現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。（あてはまる番号1つに○）

- | | | |
|-------------|----------|----------|
| 1. 大変ゆとりがある | 2. 普通 | 3. やや苦しい |
| 4. ややゆとりがある | 5. 大変苦しい | |

問 36 ご家庭の家計について、最も近いものをお答えください。（あてはまる番号1つに○）

- | | | |
|-----------------------|---------------------|---|
| 1. 赤字であり、借金をして生活している | 2. 赤字であり、貯蓄を取り崩している | |
| 3. 赤字でも黒字でもなく、ぎりぎりである | 4. 黒字であるが、貯蓄はしていない | |
| 5. 黒字であり、毎月貯蓄をしている | 6. その他（具体的に | ） |

今後の子育て施策の推進についてうかがいます。

問 37 本市は、子育てしやすいまちだと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|--------------|-----------|--------------|
| 1. そう思う | 2. まあそう思う | 3. どちらともいえない |
| 4. あまりそう思わない | 5. そう思わない | |

問 38 市に対して、どのような子育て支援の充実を図ってほしいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|---|---|
| 1. 児童館など親子が集まれる場所・イベントの機会がほしい | |
| 2. 子育て支援センターを増やしてほしい | |
| 3. 子連れでも楽しめる場所を増やしてほしい | |
| 4. 子育てに困ったとき、相談したり情報の得られる場所を作してほしい | |
| 5. 保育園・幼稚園の施設・整備の充実 | |
| 6. 保育園・幼稚園のサービスの充実 | |
| 7. 子育てに要する費用負担を軽減してほしい | |
| 8. 専業主婦など誰でも利用できる保育サービスがほしい | |
| 9. 休日・夜間でも子どもが医療機関にかかれる体制を整備してほしい | |
| 10. 多子世帯の公営住宅への優先入居や広い部屋の割り当てなど住宅面の配慮がほしい | |
| 11. 残業の短縮や休暇取得促進など、職場の環境改善を企業に働きかけてほしい | |
| 12. 子育てについて学べる機会を作してほしい | |
| 13. その他（ | ） |
| 14. 特にない | |

問 39 あなたは、より子どもを生み育てやすくするために、国や自治体にどのような「政策」を期待しますか。
次の中からあなたが特に強く期待するものについて、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

【医療・福祉】

1. 必要な時にいつでも受診できる小児医療体制を確立すること
2. 子どもの成長や発達などについて相談しやすい体制をつくること
3. 障がい児やその家族に対する支援を充実すること

【子育て支援】

4. 妊娠、育児、教育などについて気軽に相談できる面談、電話相談、メール相談を充実させること
5. 産後のお母さんの心身ケア、乳児ケア、育児サポートなど、出産前後のサポートを充実させること
6. 乳幼児を連れて気軽に集うことができ、保護者同士も交流できる施設を増やすこと
7. 私用や緊急時に子どもを預けられる施設を増やすこと

【子どもが育つ環境】

8. 乳幼児がいても安心して街を歩けるような都市基盤の整備を進めること
9. 子どもが気軽に集い、遊びやスポーツなどができるスポーツ施設や公園を増やすこと
10. 子どもが安心して外で遊んだり通学したりできるよう、防犯対策を充実させること

【子育てと仕事の両立】

11. 保護者が子育てと仕事を両立できるよう、認可保育所を整備すること
12. 保護者の多様な就労条件に対応できるよう、休日保育や夜間保育を充実させること
13. 放課後に小学校で生活の場を提供する放課後児童クラブの施設を充実させること
14. 育児短時間勤務制度やフレックスタイム制などの柔軟な働き方の推進を事業所に働きかけること
15. 産休や育児休業などがとりやすくなるよう、事業所に働きかけること
16. 幼稚園や保育所（園）に子どもを送迎してくれる駅前の送迎保育ステーションを増やすこと

【子どもの育ちや学びへの支援】

17. 幼稚園や保育所（園）における教育や保育の内容を充実させること
18. 小中高生が放課後や長期休業中に利用できる居場所（児童館やこども館など）を拡充すること
19. 子どもが地域の祭りや行事などに参加する機会を増やすこと
20. 子どもが学ぶ力や社会参加に必要な力を身につける機会を増やすこと
21. いろいろな仕事や職業について地域の大人に教えてもらえる機会をつくること
22. 児童虐待、いじめ、不登校などの予防、緊急避難のなどの子どもを守る対策を進めること
23. インターネットやSNSなどによる犯罪や依存から子どもを守るために、子どもや保護者への講座や啓発などの対策を進めること

【その他】

24. 特にない
25. その他（）

